

## ■決断の訓練（後編）

### 2 神の導きを快く待つこと

忍耐を知らないユダの人々に対する神の答えは、彼らがエレミヤに、神に祈ることを求めたときに、直ちに与えられたのではない。また次の日に与えられたのでもない。「十日の後、主のことばがエレミヤにあった」のである（エレミヤ 42:7）。私たちは、神がよしとされるときに、よしとされる方法で導いてくださることを、喜んで待つだけの忍耐を持っているだろうか。時間というものは、どれが真価のあるものかを吟味させたり、環境を変化させたり、目標を変えさせたりする働きをするものである。私たちは時折、どうしてもすぐに決断しなければならないと思われる、いわゆる決断の谷間に追い込まれることがある。しかし、「幸いなことよ。主を待ち望むすべての者は」とある（イザヤ 30:18）。また、「わたしを待ち望む者は恥を見ることがない」とも保証されている（49:23）。私たちはしばらくの間、ヨブのように、暗黒の中を歩かなければならないかもしれない。しかし、ヨブは言った。「ああ、私が前へ進んでも、神はおられず、うしろに行っても、神を認めることができない。左に向かって行っても、私は神を見ず、右に向きを変えても、私は会うことができない。しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のように、出て来る」（ヨブ 23:8-10）。「これを信じる者は、あわてることがない」（イザヤ 28:16）というみことばに雄々しく立つ信頼するたましいは、力と確信を得る。神は決して遅れたもうことはない。また、私たちの真の必要を少ししか満たしてくださらないということもない。

### 3 いざ示されたときには、その神のみこころに快く従うこと

エレミヤの時代の残りの者に対して与えられたみことばは、こうであった。「もし、あなたがたがこの国にとどまるなら、わたしはあなたがたを建てて、倒さず、あなたがたを植えて、引き抜かない」（エレミヤ 42:10）。ところが、このようなメッセージは、実は彼らが耳を傾けることを好まないメッセージであった。彼らは心ひそかに、疫病も戦いもないエジプトの地に逃れたいと願い、しかも神がそれを認

めてくださるように願っていたのである。

あなたは、たといそれがあなたの考えから推して「良くても悪くても」、主の御声に心から従おうとしているだろうか。もし自分の意志をどこまでも通そうとするなら、ついには「あなたがたの恐れている剣が、あのエジプトの国であなたがたに追いつき、あなたがたの心配しているききんが、あのエジプトであなたがたに追いつき、あなたがたはあそこで死のう」（16 節）という悲しい結果に終わってしまう。しかし、反対に、このバビロン捕囚の物語から教えられるように、じっと主の懲らしめを耐え抜くなら、「わたしがあなたがたにあわれみを施す」（12 節）というみことばを、身をもって体験することができる。心から、ひたすら、直ちに、示されたみこころに従うという態度ほど、かけがえのないものはない。「聞き従うことは、いけにえにまさり、……そむくことは占いの罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ」（1 サムエル 15:22, 23）。「もし喜んで聞こうとするなら、あなたがたは、この国の良い物を食べることができる」（イザヤ 1:19）。

自分が一つの岐路に立っているということを、もう一度思い起こしてほしい。あなたは、至高者の知恵を求め、道を示してくださるようお願い、何のためらいもなく直ちに導きに従うなら、神のよしとされるときに正しい道に導かれ、神の栄光をあらわすことができるのである。

軽率にも

いら立った手で

もつれさせてしまった

主の立てられたご計画を

苦しみの中で叫ぶとき

主は答えられる

「わが子よ 静まりなさい

そのもつれを

わたしが解いてあげよう」

【V・レイモンド・エドマン 人生の訓練 第五章「決断の訓練」より】  
※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい